

あやなり

a y a n a r i

文教大学学園
校友会報

2017.6.30 第4号

発行：文教大学学園

編集：経営企画局 経営企画課

90
TH

Anniversary

BUNKYO

1927-2017



[特集 1]

学園を繋ぐ歴史のバトン

[特集 2]

人間愛の実践

02 学園理事長の挨拶

03 文教大学学園の概要／文教HOT Topic

10 文教人／132,000

14 恩師便り

16 校友会の輪

18 学園 NEWS



文教大学学園の卒業生や現役・退職教職員など、関係者の皆様にお送りする広報誌、「あやなり」第4号をお届けします。文教大学学園の各校の情報や、卒業生・退職された先生方へのインタビューなど、楽しんでいただける内容を掲載いたしました。この「あやなり」が人と人、人と学校をつなぐ場であればと願っています。

あやなり a y a n a r i

文教大学学園校友会報

あやなりとは

「あや(文=文教)は人なり」という想いを込めて。いにしえの時代、「あや・文」は物の面にあらわれたいろいろな形、様々な線が交錯した模様を指す言葉として使われました。「あやなり」も様々な情報を発信し、皆様の目を楽しませる冊子を目指します。

「あやなり」第4号をお届けします 文教大学学園 理事長 野島 正也

今年、文教大学学園は創立90周年を迎えます。これまでに卒業生は13万人を超え、各界で活躍されています。

今でこそ付属幼稚園、附属小学校、附属中学校・高等学校、大学、大学院を持つ総合学園となりましたが、本学はけっして規模の大きな学園ではありません。特に今60代以上の方々は、当時はまだ卒業生も少ない中で、自らの努力で道を切り拓いてこられたご苦労をお持ちのことだと思います。

「あやなり」は、そうした卒業生や現役・退職教職員向けの広報誌として2014(平成26)年に創刊し、今年で第4号を迎えました。卒業生の活躍の様子や、懐かしい先生方の近況をお伝えすることで、みなさま方が旧交を温めるきっかけになればと考えております。

これから「人間愛」の理念を大切にしながら、本学園の卒業生や教職員であることが、誇らしく思えるような学園づくりに取り組んでいく所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



文教大学学園 2017年5月1日現在

文教大学付属幼稚園

開設：1927(昭和2)年
園児数：165名

園長：柳 久美子
所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17
Tel：03-3781-2798



文教大学付属小学校

開設：1951(昭和26)年
児童数：289名

校長：島野 歩
所在地：石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12
Tel：03-3720-1097



文教大学付属中学校・高等学校

[中学校]

開設：1947(昭和22)年
生徒数：451名

[高等学校]

開設：1948(昭和23)年
生徒数：801名

校長：戸田 弘美
所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
Tel：03-3783-5511(代)



文教大学・大学院

開設：1966(昭和41)年

教育学部 1,579名
人間科学部 1,836名
文学部 1,658名
情報学部 1,328名
国際学部 1,165名
健康栄養学部 436名
経営学部 727名
大学院 91名
専攻科教育専攻科 1名
外国人留学生別科 34名
〈大学・大学院合計 8,855名〉

学長：近藤 研至
所在地：
[越谷キャンパス]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
Tel：048-974-8811(代)
[湘南キャンパス]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel：0467-53-2111(代)



文教 HOT Topic

読者アンケートでリクエストが多かったため、企画しました!

文教大学 学園祭 紹介

藍 蓼 祭 (越谷キャンパス)



さまざまな年代の人が集う、アットホームな学園祭

文教大学越谷キャンパスで開催される「藍蓼祭」。かつて大学付近に藍蓼の群生地があったことにちなんで、この名が付けられた。第50回という節目の年を迎える今年のテーマは「藍らしく!」。「これまでの50年間そうであったように、藍蓼祭らしく、地元の皆さまに愛され一緒に作り上げるものになりたいという想いを込めました」。そう話すのは、藍蓼祭実行本部 実行本部長、森本雄貴さん。「今年は大人も子どもも楽しめる企画を考えています。ぜひ、学生に戻った気持ちで遊びに来てください!」

開催日 2017年11月3日(金)・4日(土)・5日(日)

簗 塔 祭 (湘南キャンパス)



学生の想いが詰まった、年々進化するイベント

「簗塔祭」という呼び名は、湘南キャンパスのシンボルでもある高く聳(そび)え立つ塔、簗塔に由来する。簗塔祭実行委員会本部長である玉川紗織さんは、高校3年生の時に簗塔祭に参加したと言う。「その時案内してくれた先輩がとても印象に残っていて、大学に入学してすぐに実行委員会に入りました」今年もサークル、クラス、ゼミなどさまざまな単位で発表や展示を行い、来場者を楽しませる内容を予定している。「先輩方がいた頃とは、また違ったものになっていると思うので、新しくなった簗塔祭をぜひ見に来てほしいです」

開催日 2017年10月28日(土)・29日(日)

学園が創立90周年を迎える今年。創設期から受け継がれて来た歴史のバトンを、次世代に託します。

[特集1] 学園を繋ぐ 歴史のバトン

文教大学
藍夢祭実行委員会
本部委員長
たまがわ さおり
玉川 紗織
さん
(情報学部3年生)

1927

1930

1931

1941

1943

1946

● 幼稚園保育のようす

旗ヶ岡(はたがおか)校舎移転当初の保育風景。30名程の園児が5・6人の班に分かれて、紙を切ったり折ったりしてお勉強。昭和初期の服装や髪型がよくわかります。



● 伸びゆく学園

立正学園正門。学科増設、立正幼稚園移転(現在地)、学園後援会や学園母姉会を発足。農場新設や泰安殿竣工など発展の一途をたどります。1942年には学園創立15周年記念式典を挙行了しました。



● 石川台校舎・溝ノ口校舎の誕生

戦災で校舎を焼失してしまいましたが、「石川台」「溝ノ口」の地と出会い、その後の発展の礎を築くこととなります。高等女学校を溝ノ口校舎(写真)に、高等家政女学校を石川台に移転し、石川台高等女学校として生まれかわりました(その後、中高へ)。



● 学園のはじまり

神嘗祭(かんなめさい)の10月17日に、学園誕生の式典を行いました。これが本学園の創立記念日となりました。立正幼稚園・立正裁縫女学校を桐ヶ谷に開学しました。



● 洋裁実習のようす

立正学園女学校と校名変更し、校舎も移転しました。校地校舎も大きく、生徒数も急激に増え、学園も成長していきます。写真は裁縫専修科のミシンによる洋裁実習の風景です。

● 調理実習のようす

本学園は1932年には高等女学校を新設し、以前からの女学校を高等家政女学校と改称しました。写真は家政女学校の調理実習の様子です。割烹着姿が眼を惹きます。残念ながら、この2年後に戦災に遭うことになります。



1951

1953

1956

1966

1970

←● 小学校の設置

溝ノ口に立正学園玉川小学校(その後、溝ノ口小学校)、旗の台に学園小学校を設置します。1955年に学園小学校は新校舎の石川台に移転します。写真左下は石川台での学園小学校(1955年当時)、左上は溝ノ口小学校(1960年当時)、それぞれの運動会風景。



←● 立正幼稚園の庭遊び

旗の台の立正幼稚園での庭遊びの風景。小野光洋・トシ夫妻も一緒に遊んでいます。当時、小野先生は理事長兼園長でもありました。



● 立正女子大学附属幼稚園

越谷校舎の現12号館の地にあった附属幼稚園。1976年大学の校名変更に伴って、文教大学附属幼稚園に。旗の台の幼稚園は立正幼稚園のままでした。

● 女子短期大学設置

旗の台に立正学園女子短期大学家政科を新設しました。写真は、1962年当時の化学実験の授業風景。

文教大学学園
法人事務局
財務経理課
いがい しげひろ
猪飼 茂弘
さん

● 越谷の地に大学設置

埼玉県越谷市に立正女子大学を新設しました。写真は1968年当時の2号館前の射場。まだ、5・7号館が無くガラーンとした状況です。アーチェリー(洋弓)部が活動しています。

文教大学
藍夢祭実行本部
実行本部長
もりもと ゆうき
森本 雄貴
さん
(文学部3年生)

文教大学学園
理事長
のじま まさや
野島 正也
さん



【特集1】
学園を繋ぐ歴史のバトン

90周年だよ！

文教大学
付属小学校
の皆さん

文教90th
Anniversary

1972



● 溝ノ口
新校舎完成(モザイク壁画)

溝ノ口小学校の学校案内などにも数多く登場した写真。階段・踊場の壁面に飾られていました。

● 立正幼稚園の保育

ごっこ遊び。松組(年長組)が中心となり、園全体で遊んで、学んでいました。写真はインディアン(ネイティブ・アメリカン)ごっこ。ティピー(家)もフェイス・ペイントもきちんと調べて、本格的に再現しています。

1978



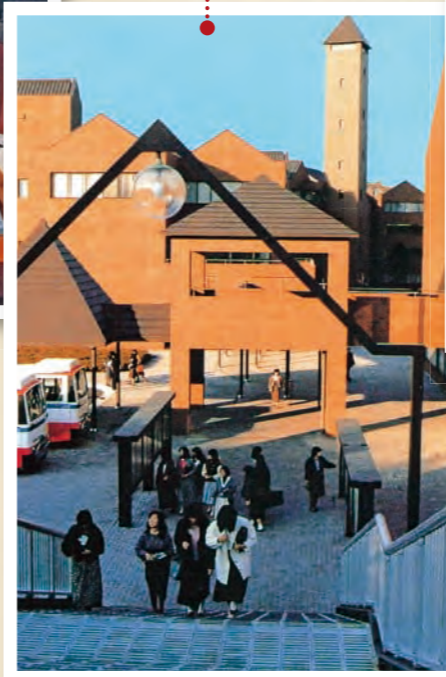
1979



● 文教大学
女子短期大学部
LL 教室

語学教育に利用したLL教室。当時の最新システムでした。ヘッドホンをつけて、マイクに向かって英語を話すと、先生が個別に指導してくれるものでした。

1985



● 湘南校舎開設、
専門学校開学

神奈川県茅ヶ崎市に湘南校舎を開設し、情報学部・女子短期大学部が移転しました。また、旗の台校舎に経営情報専門学校が開学しました。左は湘南校舎(事務棟建築前)、上は専門学校正門(1990年当時の学校祭)。

1997



● 小学校卒業式

文教大学付属小学校(石川台校舎)は、立正学園石川台小学校→立正女子大学教育学部付属石川台小学校→文教大学付属立正小学校と校名を変えていきました。



2003



● こどもの日、園児
と高校生の交流会

文教大学学園幼稚園と付属中高の高校生のお兄さんお姉さんとの交流会。幼稚園も、立正幼稚園→文教大学学園幼稚園→文教大学付属幼稚園(2005年)のように園名を変えていきました。



2014

● 付属小学校の
図書スペース

2014年から利用しはじめた石川台新校舎の図書スペース。部屋ではなく、フリーなスペースとして本の読める空間になっています。使い勝手のいい、くつろげる場所です。

2015



● 付属幼稚園
新園舎

2015年から使用しはじめた旗の台校舎の新園舎と園庭です。2階には、キナーホール(講堂)もあります。

2016

● 高等学校、
オリエンテーション合宿

高校1年生を対象に神奈川県足柄で、1泊2日で実施するオリエンテーション合宿です。親睦を深めることを目的に毎年実施しています。写真はグループ作業。ディスカッションしながら、考えをまとめています。



● 中高の新校舎

旗の台校舎にある中学校・高等学校は2014年から新校舎の工事が順次完了し、2016年に完成しました。写真は、職員室の入る校舎と校庭です。

2017

● 園長先生、
朝のお迎え

柳園長先生が毎朝、園門で園児たちをお迎えしていただきます。帰りもお見送りしてくれますよ。



文教大学付属
中学校・高等学校
白蓉会 会長
ながお しょうひろ
長尾 義大
さん
(高校2年生)



文教大学付属
幼稚園 松1組
ひろの りゅうの すけ
平野 龍之介
さん



人間愛の実践

文教大学学園の建学の精神である「人間愛」。このスピリットが、それぞれの学びの場でどのように生かされているのか、各学校長、園長先生に伺いました。

どれだけ社会が変動しようとも変わらない精神

文教大学学長 近藤研至

2017年4月より学長に就任しました。文教大学の卒業生が学長になるのは大学創立以来はじめてということもあり、身が引き締まる思いです。学長になってあらためて考えるのは、「文教らしさとは何か」です。私が文教の学生だった頃と今の学生を比較しても、人懐っこく純粋な学生が多い点では変わりません。学生同士、あるいは教員と学生との距離の近さは、他大学ではあまり感じられないことです。物理的な距離の近さと心理的な距離の近さの両方が備わっているところが「文教らしさ」といえるのかもしれませんが。

いま大学には、これまで以上に「社会に役立つ人材の創出」が求められています。その点で文教大学は、教育や人間科学、経営、情報などの分野に力を入れていることもあり、社会の要請に十分応えることができていると自負しています。しかし、昨今、AI(人工知能)の進展もめざましく、テクノロジーが人の仕事を代替することで、「20年後になくなる職業」も取りざたされています。はたして、いま教えていることが20年後も確実に意味をもつとは誰にも断言はできません。

しかし、ひとつだけ確かなことがあります。それは、文教大学が建学の精神として掲げる「人間愛」です。人が人のことを理解し、お互いを信じ、尊重し合いながら慈しむ。これだけは、社会がどう変動しようとも、決して変わることはないはず。日々の教育を通じて、押しつけがましくなく、この精神が自然と醸成されていくこと。それが何よりも大切だと考えています。



心温かく優しい生徒たち

付属中学校・高等学校校長 戸田弘美

私は昨年度、校長として本校に着任いたしました。以来、本校の生徒と接して感じるのは、所作が丁寧で、心温かく優しい気質の生徒がとても多いということです。挨拶を大切にしようとして学校全体で指導しており、目と目を合わせて、大きな声で挨拶できる生徒が多く、心が和みます。

また印象深かったのは、付属幼稚園の子どもたちと一緒に防災訓練を行ったときのことで。子どもの歩幅に合わせて歩いたり、腰を落として子どもの目線に合わせて話したりしている様子を見たときに、生徒たちが小さな子どもの立場に立って行動できていることが、とてもうれしく、またほのぼのとした気持ちになりました。これは本校の校訓である「人間愛」が、生徒たちのあいだに根づいているからだと思います。

本校ではボランティア活動も盛んです。毎年4月には、多摩川での清掃活動に取り組んでいます。生徒会では希望者を募り、上野公園での迷子案内や、付属幼稚園の盆踊りなどのイベントのお手伝いもしています。また硬式野球部の生徒たちは、毎朝始業前に学校周辺の清掃活動を行っています。生徒たちは「人間愛」をしっかりと実践しています。

今年、本学園は創立90周年を迎えます。それにもない、生徒たちが「人間愛」について考え、理解を深めるための取り組みを何か行いたいと考えています。これからも本校の良い校風を守り、伝えていきたいと思っています。



「人を信じることって素敵」と感じる心を育てる

付属小学校校長 島野歩

人間愛とは「多様な価値観を認め、人を受け入れる気持ち」。小学校時代の6年間は、その芽を育てる重要な時期だと言えます。この期間に様々な経験をし、信頼できる大人と出会い、上っ面だけではないつながりや関係を通じて、「人ってよいものだな」「人を信じるって素敵なことだな」と感じる心を育ててほしいと思っています。

例えば本校では、1年生から6年生までの縦割班を作り、掃除や宿泊学習などを行っています。悩みながら下級生と向き合う上級生、あるいは上級生の姿に憧れる下級生。こうした異なる年齢の子ども同士の関わりは、授業では得ることのできない成長と学びがあります。また2年前よりスタートしたオーストラリア短期留学では、言葉や文化の違いに大きな衝撃を受け、困難に押しつぶされそうになりながらも、そこから大きな力が引き出されていくのを感じます。

「ぶつかることを恐れずに考えを交わそう」とよく教職員に言うのですが、相手を理解し絆を深めるためには、腹を割って本音で話すことが必要です。そうしたことのくり返しが組織としての絆も深め、それは子どもたちにも伝わると信じています。つまり教職員がまず、人間愛の実践に立っていることが大切なのかもしれません。「ふるさとのような学校」を掲げる本校では、教職員は全校生徒のすべての名前と顔を知っています。担任であるなしに関わらず声をかけ、一緒に遊び、子どもたちの健やかな育ちを支えています。



認める・見守る・ともに楽しむ

付属幼稚園園長 柳久美子

幼稚園では、子どもたちの日常生活のすべてが「人間愛」を育むための実践だと思っています。

入園してきたばかりの子どもたちは、まだまだ相手の気持ちになって行動することができません。例えば、おもちゃの貸し借りの場面ひとつとっても、「お友達が持っているおもちゃで自分も遊びたいときには、ちゃんと『貸して』って言うんだよ」「『貸して』って言われたら『いいよ』って言うおねね」「貸してもらったら、『ありがとう』ってお礼を言うと、お友達は喜んでくれるよ」と子どもたちに話しかける中で、少しずつ相手の気持ちを思いやる心が育っていきます。

子どもたちは、梅組、松組と学年が上がるにつれて、だんだん頼もしくなっていきます。ひよこ組の子どもと遊具で一緒に遊んであげたり、下駄箱のところで靴を履き替えるのを手伝ってあげたりといったように、お兄さんやお姉さんらしくなっていきます。

幼稚園では文教スタイルとあって、「認める・見守る・ともに楽しむ」という姿勢を大切にしています。子どもたちの成長のスピードや、得意なことはそれぞれ違います。また芽を出すタイミングも違います。一人ひとりの違いや良さを認め、見守り、活動をともに楽しみつつ、子どもが育つ過程を保護者の方とも楽しんでいこうというのが文教スタイルです。大人が「人間愛」をもって接し、子どもたちが「人間愛」という言葉を知らずとも、それを体得していく環境を大切にしていきたいと考えています。



文教人

132,000

卒業生の数だけ文教人がいる!

- 幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。
- 卒業生は13万人を超え、全国の様々なジャンルで活躍しています。
- そんな「文教人」を追って、インタビューを行うこのコーナー。
- 文教大学学園時代の思い出から、現在の活躍まで、お話を伺いました。
- さらに今回は「文教人」の中から、飲食店を営んでいる方にも焦点をあててご紹介します。



「ありがとう、楽しかった」 の声を聞きたくて

田上 誠さん

たのうえ・のぶ

NPO法人「子ども大学かまくら」* 事務局次長
立正学園中学校・女子高等学校 1965年卒業
立正学園女子短期大学栄養科 1967年卒業

*子ども大学とは：小学生を大学生として受け入れ、大学教授やその道の専門家が具体的な事例や体験を交えながら授業を行う。「ものごとの本質としっかりと考える力」「現実の課題に知識を応用する力」「自らの行動するために判断する力」を培い、将来の夢を育むことを目的としている。

養老孟司氏を学長に迎え「子ども大学かまくら」を設立

ドイツ・チュービンゲン大学で始まり、またたく間にヨーロッパ各地に広まった「子ども大学」。日本では2008年に埼玉県川越市に、続いて2012年には神奈川県鎌倉市に設立された。「子ども大学かわごえ」の設立メンバーである、ご主人の友人からの誘いで授業を参観し、約2時間、大学教授の授業に聞き入る子どもたちの姿に感動して、地元・鎌倉の子どもたちにもこうした機会を作ってあげたい。その思いからNPO法人「子ども大学かまくら」を立ち上げ、14人の仲間とボランティアに支えられて運営するのが田上誠さんだ。「苦労を感じたことはない」とおおらかに笑うが、一主婦が地域の人脈を頼りに設立まで漕ぎ着けるのは、容易ではなかったと想像される。学長は鎌倉在住で東京大学名誉教授の養老孟司先生。「玄関先で断られる覚悟」で先生の自宅へ足を運ぶが、その場で快諾してくださったと言う。

第二の家族のような学校で育てられる

育った開業医の家は、人の絶えない家だった。立正学園時代の友人たちも年中出入りし、鎌倉に住む今もその付き合いは続

いている。

「中学は3クラスしかなかったので、ほぼ全員の顔と名前を知っていますね。先生との距離も近く、あたたかい雰囲気の中で育ててもらったと感謝しています」

付属中学・高等学校から立正学園女子短期大学の栄養科に進学。学園祭の実行委員会の副会長として、運営費の捻出やダークダックスの出演交渉などに関わる。

「その時の経験が、『子ども大学かまくら』の仕事に役立っていると言えるかもしれません。毎回、講師の先生選びには頭を悩ませますが、2017年度も楽しい授業が並びました」

子どもたちの「楽しかった!」の言葉がとっとうれしい。そしていつか、「あの時の授業がきっかけでこの道に進みました」と、卒業生から報告を受けるのが夢だ。

「子ども大学かまくら」の活動で使用するパンフレット。「HPもあるので、見てもらえると幸せです」▶



さらなる上を目指して、 迷いながら前に進んでいく

増田 純一さん

ますだ・じゅんいち

株式会社東武ストア加須店加工食品主任
文教大学文学部中国語中国文学科 2005年卒業

読者アンケートに答えて頂き
取材が実現しました!

完璧な売場づくりのために

文教大学越谷キャンパスのある北越谷から約40分。東武伊勢崎線加須駅前に増田純一さんの勤務する東武ストアがある。増田さんが担当するのは生鮮食料品を除く、麺類、飲料、菓子、調味料などの食品類。ストアの約7割を占める売場の主任として、仕入れから商品のディスプレイまで売場を作ること全般に関わり、「完璧な売場づくり」を目指す。

「まずは棚に商品の品切れがなく、美しく陳列されていること。そして床の清掃などにも気を配っています。『ここへ来れば欲しいものがいつもある』。お客様にそう思ってもらえることが理想ですね」

休日には東京の人気百貨店の「デパ地下」に足を運び、どんな商品がどのように陳列されているかを学ぶ。それを地域性や顧客のニーズを考慮しながらアレンジし、自分の売場を作る。主任になって2年、まだまだ勉強の毎日だ。

大学は人間力を高めてくれた場所

大学時代は吹奏楽部に所属。大学時代の一番の思い出は、やはり部活動だと言う。また文化系の部・サークルを統括す

る文化会の会長も務め上げた。

「部活を通していろいろな人に会い、関わっていくことで、自然とコミュニケーション力がついたと思います。パートの方たちへの指示出し、お客様対応など、現在も人と接することがまったく苦ではないのは大学時代の経験にあると思います」

文教大学はどんな場所でしたか?この質問に増田さんは、「人間力を高めた場所」と答えてくれた。現在の職場でスキルを磨き、業界の知識に通じ、迷いながらもさらなる上を目指していきたくと語る。



仕事のマストアイテム、エプロン。メモやカッターなどは、胸ポケットに携帯している▶



助監督から飲食店経営へ。
地球を2周して
辿り着いた場所

早坂 泰彦さん はやしか・やすひこ
多国籍DINING Pangaea～パンゲア～ オーナー
文教大学付属幼稚園(越谷幼稚園) 1979年卒園



世界各国の料理とビールを揃えています。世界旅行気分を味わいに、ぜひ遊びに来てください!

多国籍DINING
Pangaea～パンゲア～
埼玉県越谷市南越谷1-27-7
ノーブルクロスII 2F
☎048-967-1800

「地球2周したオーナーが創る多国籍料理店」。南越谷で早坂泰彦さんが経営する飲食店「パンゲア」の謳い文句だ。地球2周達成と聞くとワイルドなタフガイを想像するが、実際の早坂さんは物腰の柔らかい気さくなマスターといった雰囲気。文教大学付属幼稚園に通っていた当時は、「未熟児で生まれたせいも小さく、病気がちでおとなしい子どもだった」という。でも、「泥んこ遊びは好きでした。裸で遊び回ったり、昼寝の時間にみんなで雑魚寝をしたのも懐かしい思い出です」。

大学卒業後は映画監督を目指して助監督に。「映画やテレビドラマの助監督に十数年携わりながら、仕事の合間に地球2周やアメリカ横断、オーストラリア周遊など、世界中を旅して回りました」早坂さんが旅に求めるのは「人との出会い」。世界各地での人々との出会いから、飲食店を開く夢が芽生えた。「映画と飲食業は全く違う世界だと思いますが、人に喜んでもらう仕事という意味ではさほど違いは感じません。メニューで何を表現するのか、照明をどうするのか、どんな服装でお客様を迎えるのか。これら一つ一つが演出です。店という名の舞台を創るようなものだと思います」

店では世界各国の料理と約40種類のビールが揃い、「世界一周飲み放題」なる魅力的なコースもあり、南越谷で世界旅行の気分が味わえる。この地にオープンして11年、「まだ途上です」。早坂さんの旅は続く。

サービスの奥深さに触れ、
飲食の世界へ

藤澤 妙子さん ふじさわ・たえこ
Palazzo Adriano パラッツォ アドリアーノ オーナー
文教大学付属小学校(旧立正学園溝の口小学校) 1980年卒業
文教大学付属中学校・高等学校 1986年卒業

相模大野駅前でイタリアンレストラン「パラッツォ アドリアーノ」を営む藤澤妙子さんは、小・中・高と文教で学んだ生粋の文教人だ。小学生の頃につけられたあだ名は「大将」。高校卒業まで、友だちや先生からその愛称で呼ばれていたことから人気者ぶりがうかがえる。「高校時代、たのきんトリオが流行っていて、よくトシちゃんのものまねをして遊んでました。お調子者だったんです」在学中は英語が得意、高校卒業後も英語の専門学校に通い、「語学を活かした仕事につければ」と考えていたが、アルバイト先のレストランでサービスの奥深さに開眼。「当時の上司に作業とサービスの違いを学びました。飲食店で大切なのは人と人とのコミュニケーションなんだ、と」名店「キハチ」に13年在籍した後、2011年に自分の店をオープン。震災と重なり苦難の船出となったが、「口コミでお客様が徐々に増えていきました」。週1、2度は自ら鎌倉や三浦に向かい吟味した旬の素材でメニューを考え、シェフが形にする。北から南までのイタリアンワインも充実。「目指したのは大人のためのカジュアルダイニング。新鮮な素材を活かした料理とホッとできる空間を愉しんでもらいたいですね」



食材とワインにこだわっています。ゆったりとくつろげる空間で、皆さまをお待ちしております。

Palazzo Adriano
パラッツォ アドリアーノ
神奈川県相模原市南区相模大野3-14-7
ソフトビル2F ☎042-851-5815

文教で学んだ
「人を信じて待つ寛容さ」

鈴木 通温さん すずき・みちはる
ポモドーロ オーナー
文教大学付属小学校(旧立正学園溝の口小学校) 1980年卒業

文教大学付属小学校(旧立正学園溝の口小学校)卒業生の鈴木さんは、現在、溝の口で学習塾の塾長とレストランのオーナーという二つの顔をもつ。人に喜んでもらえる楽しさを知ったのは小学校時代。「授業は小グループ制で、誰か1人でも分からないと手を挙げられないんです。先に分かった時に教えてあげる

と『ありがとう』と感謝されるのがうれしかった。将来は人に喜ばれる仕事をしたいと思うようになりました」

大学卒業後に公認会計士第2次試験に合格し、公認会計士講座の講師を経て学習塾の塾長へ。その一方、溝の口駅前のイタリアンレストラン「ポモドーロ」のオーナーだった母親が3年前、69歳の若さで急逝したことで、鈴木さんが跡を引き継ぐことになった。塾長とレストランオーナーはまるで異なる職能のようにも思えるが、「子どもたちを教えるのも、レストランで従業員と接するのも、どちらも頭ごなしに言うのではなく、人の可能性を信じて待つことが大切という意味では同じです」。

人を信じて待つ「寛容さ」は文教で学んだことだと鈴木さんは言う。「たとえ失敗しても、それを教訓にすればいいという精神。それは今も校風として受け継がれていると思いますし、私の二つの仕事にも通じることだと思いますね」



商店街に面したアットホームなレストランです。気軽に洋食イタリアンをご堪能ください!

ポモドーロ
神奈川県川崎市高津区溝口1-9-6
☎044-822-0797



かつて文教大学学園で教壇に立っていた懐かしい恩師の方々の近況をお伝えします。今回は、3名の先生方に近況と文教時代の思い出を語っていただきました。



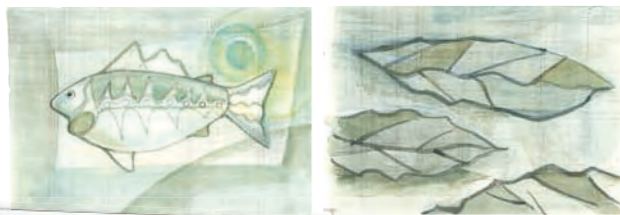
今号の表紙は池田先生作品

みんなが一度は描いたことがある、親しみのあるモチーフとしてヒマワリを選びました。この季節らしい爽やかさを感じてもらえたら嬉しいです。

残りの人生は 自分自身のために時間を使いたい 池田 賤夫先生

美術大学を卒業して、美術の教師として赴任しました。創作の基本とは、ものを見る力を養うこと。もの見方には自然科学に基づいた法則があり、授業ではプリントを使って理論を教えることから始めました。理論が頭に入ったら、そこからどう発展させていくかは個人の感性や考え方の問題。創造は自由でなければできない、自由な心で創作に臨むことが大切だと、生徒には話しました。その考えは今でも変わりませんし、自分が絵筆を握る時にも大切にしていることです。

先生の他の作品



最近『象形』をテーマに絵を描いています。オーストラリアの先住民アボリジニが残した壁画のような、対象に想いを込めた絵に憧れを持っています。

在職中は入試広報の担当責任者として、学校運営にも長く関わってきました。生徒募集のためのパンフレットづくり、学習塾へ出向いての説明会。今ではどの学校でもやっていますが、学校見学者に授業を公開するなど、一人でも多くの方にこの学校の存在と良さを知っていただく工夫を凝らしてやっていました。その中でやはり忘れられないのは、女子校から共学になったこと。1年という短い期間でよく準備ができた、いま振り返っても信じられないような気持ちです。

介護のために60歳で早期退職し、義父を2年前に見送りました。在職中から続けているネパールの支援活動のほか、小学生の登下校の見守りなど地域活動にも参加するようになり、変わらず忙しい日々です。この間には、心臓の病気で手術・入院するなど大病もしました。残りの人生は自分自身のために時間を使いたい。人のために…なんて、おこがましいことだと思っています。

●いけだ・しずお

昭和46年立正学園中学校・高等学校に赴任。入試広報部長、中学教頭を務め平成20年退職。

短くも密接なつながりができた 小学校での教員生活 川井 恵子先生



大学を卒業して2年目に石川台小学校に赴任し、3年生を担当しました。生徒たちはみんなとてもかわいらしくて、休み時間には私の机まで来て「先生、お休みの日は何をしていたの?」と話しかけてきたり、梅雨の頃にはクチナシの花を下駄箱に入れてくれた子もいました。また、お母さんたちは、まだ若くて上京したてだからごはんを作るのも大変だろうと気遣ってくださったこともあり。1クラス35名くらいでしたから生徒全員の顔を丁寧に見ることができただけでなく、親御さんとの距離もとても近かったように思います。

翌年には付属中学校・高等学校に異動したので、たった1年のお付き合いだったのですが、クラスの生徒たちは、その後アメリカに留学した私の話が聞きたいと連絡をくれ、今でも折々に顔を合わせています。半世紀以上の長いおつきあいになるとは思ってもいませんでしたが、少人数制で密接な時間を過ごせたからなのだと感じています。今でも生徒たちの心の中には旧姓の「豊嶋」として記憶されているんですね。中学・高校は1クラス65人の時代でした。教室に入っていくと女子高生の130の瞳が一斉に注がれたことを覚えています。定年後は起業して、いまだに「教える」

仕事をやめられないのは、教えることは能力を引き出すだけでなく、心も引き出しコミュニケーションをとる面白さがあるから。本当に一生遣り甲斐のある仕事に就けたと思っています。

●かわい・けいこ

昭和39年石川台小学校に赴任。昭和40～44年は付属中学校・高等学校の英語教諭。その後アメリカに留学し、帰国後は外資系企業で日本語や英語を社員に教える語学研修の仕事に就く。ジャパントイズ社から日本語テキストを出版し、現在は日本語コンサルタントとして会社代表を務め、大学で留学生に日本語を教えている。



学生と本気でぶつかり合った日々 小泉 満子先生

私は昭和48年から平成23年まで、大学で教えました。非常勤で教えていた頃も含めると約40年間、文教と関わってきたこととなります。最後の6年ほどは研究科長や評議員という管理をする立場でしたが、やはり一番思いに残っているのは学生との関わりです。赴任当初は私も若かったので、学生に教えるというよりも、一緒に学ぶ、

共に研究するという姿勢でした。ですから、学生が教室で発表する意見に対しても、「それは違うと思う」と真っ向から反論をすることもあったので、随分怖がられていたんじゃないかと思います。昭和の学生は積極的に議論をたたかわせる雰囲気があり、学生も私も本気でぶつかり合った日々でした。

平成に入ると学生の資質も変わってきます。思考力と発言力を高めるために、授業では学生に見たい映画を選んでもらい、それをクラス全員で見てディベートを行ったりもしました。週に2回なので学生も私も大変でしたが、印象に残る授業でしたね。今あらためて教える子たちに言いたいのは、「自由に生きて」ということ。こうでなければならないという固定観念に縛られずに生きる。それが文学から学ぶべきことであり、文教の精神だと思います。

●こいずみ・みつこ

昭和48年、立正女子大学教育学部に赴任、平成23年まで勤務。ペンネーム江種満子として著書多数。白樺派を中心とした日本近代文学やジェンダーと文学の関わりについて研究。現在も文教大学生涯学習センターで講座を開いている。





文教大学学園 校友会の輪

2012年に発足した「文教大学学園校友会」は各校校友団体の連合体です。
校友同士の輪(和)の形成を目指しています。

文教大学 藍蔦会



1973年の発足以来、藍蔦会は全国各地の卒業生の拠り所として、また母校文教大学の発展を願う同窓会活動を続けています。県支部活動も活発になり、44年経った今、卒業生一人一人の積み重ねてきた力が社会においても会においても少しずつ形となり根付いてきました。まだまだ道半ば。今年度も元気に活動中！

- 会員数：40,282名
- 問合せ先：[藍蔦会事務局] 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
☎048-974-8811 ☎048-979-6644
✉aitade@www.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/aitade/



▲文教大学新潟県同窓会

イベント

ホームカミングデー 2017年11月25日(出)

場所：文教大学湘南キャンパス
懐かしいキャンパスで、恩師や学友との交流を深める機会にご活用ください。ご来場お待ちしております！

▲定期総会の様子

文教大学 経営情報専門学校 翔華会

13年間の短い歴史をもって1998年3月に経営情報専門学校は閉校しました。同時に記念誌「翔」を発行しこの会の活動は休止しています。卒業生は仕事にプライベートに忙しい世代です。時間に余裕ができ、再び「翔」ける日まで充電中です。

- 会員数：2,842名
- 問合せ先：
✉ arao@stf.bunkyo.ac.jp
(担当：荒尾)



文教大学附属高等学校 三蓉会

今年は母校が創立90周年を迎えるので皆さんと一緒に盛大にお祝いしましょう。今後も在校生を応援するとともに教職員と協力し、学園の発展に寄与していきたいと思っております。

- 会員数：23,400名
- 問合せ先：
[三蓉会事務局] (木曜日開室)
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17
☎03-3784-0524
✉ sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp



イベント

白蓉祭

2017年9月16日(出)・17日(日)
場所：旗の台キャンパス
卒業生のお休み処を用意してお待ちしております。

創立90周年を祝う会

2017年10月29日(日)
場所：旗の台キャンパス
詳細は三蓉会会報をご覧ください。

文教大学附属小学校 同窓会

今年の春に61回目の卒業生を送り出しました。昨年からの同窓会の記念品として男女の制服をあしらった可愛いストラップが好評です。バザーや講演会等、同窓会として、若く活気溢れる小学校をサポートしています。



イベント

バザー (父母の会主催)

2017年10月7日(出) 場所：文教大学附属小学校1F
恒例のじゃんけんスタンプラリーに加えて、副会長力作の風船パフォーマンスが児童たちに大人気です。

- 会員数：2,213名
- 問合せ先：〒145-0065 東京都大田区東雪谷2-3-12
☎03-3720-0792 (同窓会専用) ✉ besrc_2008@yahoo.co.jp

文教大学附属(溝の口)小学校 校友会

学園校友会発足と共に資金的な援助を受けられるようになり、夏の高津区民祭、冬の大山街道フェスタに3年連続して参加。校友生に再会の場を提供できるようになり、お陰様にて、来訪の卒業生は増えてきております。



イベント

大山街道フェスタ

2018年2月下旬の日曜日
(詳細は年末以降の校友会HP/Facebookにて)
場所：旧大山街道増屋商店店頭を予定
「銀杏」と「のらぼう菜」のプレゼントを予定。

- 会員数：約500名
- 問合せ先：
〒206-0804 東京都稲城市百村606 ☎042-377-7717
✉ tomi-jun@cream.plala.or.jp (担当：4年生 富永)
🌐http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/(担当：17年生 矢内)
Facebookもあります！HPともに「文教大学附属溝の口小学校校友会」で検索

文教大学 父母と教職員の会

本会は、本年度創立41周年を迎えます。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、学生の諸活動や生活及び就職対策支援、100円朝食の共催等様々な活動を行っています。

- 会員数：8,823名(正会員/在学生 大学院96名含む)、364名(教職員会員)、100名(賛助会員)
- 問合せ先：
[父母教越谷事務局]
〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
☎048-974-8811 内線1051
[父母教湘南事務局]
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 ☎0467-53-2111 内線640
✉ fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
🌐http://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/



文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

本会は、オリジナル性に富む楽しい会を目指しています。昨年10月は、講師を招き「手作りうどん」を楽しみました。本年は5月にリクエストの多かった元荒川土手でのオリエンテーリング、7月末には初めての企画「八ヶ岳の自然と遊ぶ一泊バスツアー」を開催します。ぜひご参加ください。



- 会員数：62名
- 問合せ先：〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
☎048-252-1757 (担当：林)
✉ fmk.61012@aa.cyberhome.ne.jp

イベント

八ヶ岳一泊バスツアー

2017年7月22日(出)～23日(日) 場所：山梨県八ヶ岳方面
宿泊先：文教大学学園八ヶ岳寮
八ヶ岳の自然と遊ぶ・野菜の収穫・バーベキュー等体験。
希望者は林宛 ☎090-6015-8282

文教大学ビジネス同友会

ビジネス現場で日々奮闘する同窓生が、縦横の繋がりを深め情報交換できる親睦団体です。様々な職種で活躍する会員は、就職したばかりの20代から60歳をこえたベテランまで、短大を含めた全学部の文教OBに亘ります。



- 会員数：約200名
- 問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
☎04-7145-5036 ✉ bunkyo.bd@gmail.com
🌐http://bunkyobiz.net/

イベント

第4回キャリアサロン

2017年11月の土曜日午後(詳細未定) 場所：旗の台キャンパス
毎回、個別テーマに沿った職務当事者を講師に、ビジネス・キャリアを探ります。詳細はHPでご確認ください！

文教大学学園 退職職員の会

退職職員の会は、文教大学学園(旧立正学園)の職員であった事の喜びと誇りと榮譽を持つとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に発足しました。現在は休会していますが、再び活動できる日まで情報収集を行ってまいります。

- 会員数：58名
- 問合せ先：
〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2
☎03-6410-9943 (担当：鈴木)



日々着々と進化していく文教大学学園のタイムリーなニュースをお届けします！

文教
大学

**小学校／中学校
教員採用者数
私立大学 全国第1位！**

2017年4月13日発売「大学ランキング2018」（朝日新聞出版）によると、教員採用者数(2016年大学通信調べ→2015年度実績)は以下の通りでした。

小学校		中学校	
10年連続	私立大学 全国第1位	4年連続	私立大学 全国第1位
国公私立	全国第4位 (257人)	国公私立	全国第2位 (138人)
1 愛知教育大	289人	1 北海道教育大	140人
2 北海道教育大	263人	2 文教大	138人
3 大阪教育大	260人	3 愛知教育大	120人
4 文教大	257人	4 日本大	108人
5 岐阜聖徳学園大	229人	5 大阪教育大	83人

文教
大学

**文教大学CM
「光らない石はない」が
完成しました**

2016年7月、文教大学CM「光らない石はない」が完成しました。出演者は全て文教大学の学生で、越谷と湘南の両キャンパスで撮影を行いました。今回のために制作したオリジナルソング「光らない石はない」を、200名近い文教生が真剣に歌っています。15秒CMの「光らない石はない」Aと「光らない石はない」Bの他、3分29秒のノーカット版をYouTubeで公開しています。皆さま、ぜひご覧ください。



YouTube
「文教大学
Official
Channel」▶



文教大学
映像
ライブラリー▶



「文教大学教育フォーラム2018」のお誘い

教育関係の仕事に就く卒業生の“気楽な”情報交換会、「文教大学教育フォーラム」を2018年2月24日(土)に開催します。今回は、新学習指導要領について、中央教育審議会委員で

文教
大学

**東京あだちキャンパス(仮称)
開設に伴う学部移転を決定**

学校法人文教大学学園は、2015年3月に取得した東京都足立区花畑の用地に、東京あだちキャンパス(仮称)を、2021年4月に開設することを決定いたしました。東京あだちキャンパス(仮称)には、湘南キャンパスに設置している国際学部と経営学部の全学年一斉による移転をいたします。これにより文教大学は、既存の越谷キャンパスと湘南キャンパスと合わせて、首都圏1都2県にまたがる3キャンパス体制となります。



文教
大学

**文教大学の公式マスコット
キャラクターが決定しました！
LINEスタンプも販売開始！！**

大学50周年記念事業の一環として、2016年1月15日～5月31日までの期間で大学の公式マスコットキャラクターのデザインを募集しました。BUNKOは、109点の応募の中から選ばれた、文教大学卒業生の谷口佳江さんの作品です。「はんぶんこ」したハートを持っている謎の生物で、はんぶんこしたハートは、分かち合う幸せ、人への愛情や優しさ、人との絆やつながりなどをイメージしているそうです。今後大学のPR活動に活用していきます。2017年4月1日(土)より、LINEスタンプも1セット(24種類)120円(50LINEコイン)で販売中です。



中高
小学校

学びの交流祭



付属校では、学園創立90周年を記念した「学びの交流祭」を行いました。「学びの交流祭」とは、総合学園の特徴を活かして、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学と相互の交流を図り、「学習者の喜び・感動」と「学習者の成長」を目的とするものです。小学校では、全学年を対象として、大学の教授や学生が先生となって特別授業を行いました。中学校・高等学校では、高校1年生を対象に大学の教授が90分間の授業を行いました。授業の内容は様々で、生徒、児童たちも普段とは違う特別授業を楽しみました。

幼稚園

3年ぶり『文教まつり』復活

幼稚園では、2016年9月24日(土)に3年ぶりに『文教まつり』が開催されました。保育室はレストランやバザー品の売場に、キンダーホールはゲームコーナーになり、どこへ行っても人・人・人で、大盛況でした。付属中学校・高等学校のブラスバンド部の演奏もあり、園児たちは、いつもと違う幼稚園に、笑顔がはじけていました。



**韓国文教大学学友会の
懇親会がソウルで開催されました！**

韓国文教大学学友会は、文教大学を卒業した韓国人留学生により、2006年に発足しました。2016年11月に懇親会が開催され、3名の卒業生に話を伺ったので報告します。

「越谷キャンパスの桜の美しさが印象に残っています」と語る李賢萬会長は、帰国後大学で日本語を教える仕事を経て、現在は釜山市の市議会議員となっています。湘南キャンパスでは、留学生はみな茅ヶ崎市のお祭りに参加しました。「法被を着てお神輿を担ぎ海に入ったことが楽しい思い出です」と国際学部卒業の郭尙勳さんと李宇鎮さんは生き生きと語ってくれました。今は韓国で活躍する韓国文教大学学友会会員の皆さんは、韓国における卒業生の連携と、文教大学の知名度向上に尽力してくださっています。



文教大学付属校 入試関連イベントのお知らせ

付属中学校・高等学校 入試関連イベント

入学をお考えの受験生やその保護者の皆様をはじめ、多くの方々に本校の教育方針や教育内容を知っていただくため、学校説明会を開催します。このほか、ミニ説明会、授業公開デーや各種イベントの際、ご希望の方を対象に施設見学(授業見学)、個別相談を承ります。詳しくは、文教大学付属中学校・高等学校のHP、「入試案内」でご確認ください。 <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/ghsn/entrance/>

【学校説明会】

日程	付属中学校	付属高等学校
9月 9日(土)	14:00～15:20	10:30～11:50
10月 7日(土)	10:30～11:50	14:00～15:20
11月11日(土)	14:00～15:20	10:30～11:50
12月 2日(土)	10:30～11:50	14:00～15:20

付属小学校 学校説明会のお知らせ

入学をお考えの受験生や保護者の皆様をはじめ、公開授業参観、学校説明会、個別相談会など、学校の様子をご覧いただき、学校教育方針をご理解いただける会を開催しています。詳しくは、文教大学付属小学校のHPの「入学案内」でご確認ください。 <http://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/entrance/>

日程	授業	説明会	個別相談会	備考
9月16日(土)	8:30～10:05	10:30～11:30	11:30～12:30	教員・在校生保護者との面談あり
10月 4日(水)	8:45～10:20	10:30～11:20	11:30～12:30	入試模擬体験あり

付属幼稚園 入園説明会のお知らせ

詳しくは、文教大学付属幼稚園のHP「入園について」でご確認ください。 <http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/youchien/admi/index.htm>

日程	時間
9月 7日(木)	10:00～11:00

「あやなり」Webサイト紹介

「あやなり」の誌面には載せきれなかった、卒業生・恩師のこぼれ話や各キャンパスの今昔写真を「あやなり」Webサイトに掲載しています。魅力的なWebサイトの内容を紹介します!!
URL : <http://www.bunkyo-ayanari.jp>



Web
サイト
限定

「あやなり」読者限定特典付き!

【卒業生のお店紹介】



文教人は、全国各地で、様々なジャンルのお店を開いています!現在は、今号の「文教人」にもご登場いただいた、神奈川県相模原市でイタリアンレストランを営んでいる藤澤妙子さん(溝の口小学校・中高卒業)、神奈川県川崎市でイタリアンレストランを営んでいる鈴木通温さん(溝の口小学校卒業)、埼玉県越谷市で多国籍ダイニングを営んでいる早坂泰彦さん(越谷幼稚園卒園)のお店の詳しい情報を掲載しています。お近くにお寄りの際には、ぜひ訪問して、文教人のつながりを感じてください。

掲載希望も受け付けています!!

詳しくは「あやなり」Webサイトをご覧ください。

Web
サイト
限定

【文教人対談】

誌面にもご登場いただいた文教人に、対談にも参加していただいています。現在は、Webサイト限定で2つの文教人対談を掲載しています。1つ目は「あやなり」第2号に登場した野中久幸さんと同級生の竹内充さんによる、情報学部開学時や現在のお仕事に関する対談。2つ目は、石田恒好学園長と教育学部星野常夫教授による、軟式野球部の顧問を通して考える学園の姿に関する対談です。読み応え十分な内容ですので、ぜひご覧ください!

あやなりwebアンケート

Webサイトからも「あやなり」へのアンケートにお答えいただけます。「あやなり」第4号に対するご意見やご感想をお待ちしています!

プレゼント
が当たる!



2017年9月30日(土)までにアンケートにお答えいただいた方から抽選で10組20名様に、文教大学学園八ヶ岳寮の宿泊利用券(1泊2食)をプレゼント。



【文教90年のあゆみ】

2017年に学園が創立90周年を迎えるにあたり、90年の歴史を振り返る写真をまとめました。今号の「学園を繋ぐ歴史のバトン」とは異なる切り口で、学部設置の意図や思いも書いています。写真を見ながら、在学時の思い出に思いを馳せていただくと嬉しいですよ。



その他、ご住所等の情報変更連絡も「あやなり」Webサイトから行えます。
誌面とは違う内容の「あやなり」Webサイトも、ぜひご覧ください!!

編集
後記

●文教大学学園に関わる“人”や“物”を紹介してきました「あやなり」も第4号を発行する運びとなりました。第4号でも、魅力的な卒業生や、人間愛あふれる現役・退職教員の方々に登場していただいています。また今号では、お送りいただいたアンケートを基に一部の記事を制作しました。「あやなり」第4号に対するご意見やご感想もお待ちしております!(校友会室)

※送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

※「文教人」の卒業生数は、本学園創立から2017年3月までの、各校の卒業生数を集計したものです。複数校を卒業している方の「名寄せ」は行っていませんのでご了承ください。また、付属中学校・高等学校については、高等学校卒業時点でカウントしています。

あやなり
文教大学学園校友会館
2017.6.30 第4号
発行:文教大学学園
編集:経営企画局 経営企画課
制作:文化工房

〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
TEL:03(3783)5511(代)
FAX:03(3783)6109
E-mail:alumni@stf.bunkyo.ac.jp